



414
A-283
2

卯輔
書記之長
後多未深

大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

大藏卿輔閣下

明治十年九月十号 二五尾金田信丸

此書係由海軍大臣
 大隈侯爵所贈
 其書中載有
 海軍大臣大隈侯爵
 之遺囑書
 其書中載有
 海軍大臣大隈侯爵
 之遺囑書



所往所及とある。残し置きたるモアハ、再と上陸先ツ
徒而ノ者ありたり。高倉と云ハ、以て高倉ナリトモ
此ノノ、自ラカリ、お出サレ、何れノ私を救ヒヨリ、一対ノ破れ
ナリ起リ、街上雜徒ノ業次ニ、向道ヨリ、海岸ニ出テ、首を突
高子、槍丸ニ、若スルヲ、得タリ、其高倉ニ、モ、ヤ、高、と、志、燃、モ
上陸シ、見ヨリ、少、四、行、ス、止、船、ニ、意、シ、願、テ、東、路、ヲ、望、メ、ハ、春、日
日、船、ヨリ、焚、ス、ル、奇、ノ、巨、丸、私、字、救、及、ト、新、地、精、街、四、三、六、十、兩
地、一、時、火、ヲ、焚、ス、ト、ニ、新、名、敷、下町街、ノ、四、又、火、起、リ、鹿、島
浦、城、火、端、ト、ナ、レ、リ、初、メ、高、倉、ヨリ、海、岸、ニ、出、ハ、屋、中、ニ、交、コ
ノ、カ、路、ニ、婦、吹、ノ、標、ノ、モ、ノ、白、丸、ヲ、提、ケ、一、兩、火、丸、三、石、ノ、
城、ノ、番、番、ニ、テ、モ、ア、ル、ヘ、ト、思、ハ、レ、牛、石、六、町、御、見、道、ニ、テ、提、鐘、
緩々、去、ル、事、ト、云、フ

二日午後二時、船長、崎、ノ、意、ス、船、中、加、以、ホ、ヨ、リ、後、シ、カ、ル、者、ノ、語、
明、海、上、ヨ、リ、望、メ、ハ、何、れ、ハ、石、塔、ノ、シ、リ、見、シ、故、燒、失、疑、ナ、レ、ト
三日、夙、ニ、船、長、ノ、旅、館、ニ、入、リ、所、出、ノ、者、ノ、言、ハ、屋、中、ノ、ウ、リ、語、
セ、シ、ニ、中、所、何、レ、ハ、難、者、何、レ、下、カ、ハ、一、先、ツ、婦、吹、ノ、標、出、出、
人、ハ、ア、カ、ル、事、ト、云、フ、自、ラ、崎、ノ、上、野、倉、本、カ、ハ、都、
々、カ、ル、事、ト、云、フ、舟、内、ヘ、引、揚、キ、カ、リ、雷、石、止、止、カ、ル、ハ、引、
揚、ノ、儀、を、校、リ、ウ、上、申、ヤ、リ、日、夕、時、止、密、史、島、中、カ、意、深、
三日、向、リ、指、シ、笑、脱、ノ、意、ハ、上、野、倉、引、揚、ノ、一、ツ、崎、地、ニ、婦、
吹、ノ、
三日、再、ヒ、定、行、舟、ヲ、引、揚、シ、二、日、氏、モ、前、夜、鹿、島、島、指、シ、笑、脱、
カ、レ、シ、ト、テ、渡、舟、一、等、高、倉、船、長、ヨ、リ、船、長、ノ、言、ハ、何、レ、ハ、島、
ハ、御、討、ニ、具、ス、候、船、長、船、長、ノ、言、ハ、何、レ、ハ、島、ノ、言、ハ、何、レ、ハ、島、

ヨリスルまむの欠けり
甲池田正三四徳の托して激る高川ヲ難に從せしむ
リ伊豫ラシム

五日午の敵軍の志る漁師の心算ノ西濱ヲ焚し天竺ヲ
經ラ奉り肥前守木ノ寺にセシ藝ヲツ花高と云しり中夜空
十ん上禁ホこを代に中地ノ東ハ八日リ四時至スハリ其地ニ
は迄来に早業ヲト事知ス

六日夕上禁ホヨリ七日出発長崎ニテ赴く所待合しヨリ電
ッ得レハ出帆期アリ且前日夕自況急ノ儀告げセシニ其
ヲ甚死し西人若し未スハ現勢セヨト告げ主人に托セリ

七日池田正三病リ以時長崎に補養ノ所ト出ル所は四合藏
ニ移藏セシ家守重光ノ存亡推察ノツツ囑托ス

八日午の敵軍上名吉原丸即刻出帆水中に於テ左ノ二番リ停又

三日午前四時迄到着ノハ官軍幸ト當日午前ヨリ諸口
大進撃ノ由到着者ヲ都合宜し直に砲臺ヨリ故に伊東仁
礼ニハ新造放筒乃と銃機飛春見院ノ水高リ幸井義城
中城四方リ團々を共戦回リ午前七時迄城内ト座敷ヲ死
城ハ学校ニ宅集本午の敵軍城ノ東方リ團々を夜以撃
責島清其外切込隊三十五名ヲお取り官軍死傷十
名に過ス大勝利也官軍援兵充ち善四考ハ
ニハ必支平也ニハナラン 加減木ヨリ 長崎ハ

九月五日午の敵軍三十名中村分村奉へ

